

# 比縦断長大橋参入へ

マニラでワークショップ  
日本大コンサル

大日本コンサルタントがフィリピン全土を縦断する長大橋プロジェクトの参入を目指した活動を加速している。同社は9月2～4日に首都マニラ市内でワークショップ（WS）を開催し、参加した同国の公共



事業道路省（DPWH）の担当者に対し、橋梁建設に必要な技術を解説した。同国の経済発展に貢献するとともに、構想段階にある長大橋の調査・設計業務の受注を狙う。

12日に東京都内で会見した新井伸博社長が今後の事業展開を説明した。

群島国家の同国は、島同士を結ぶ交通手段が旅客機や船舶に限られている。急速に経済成長が進む中、道路ネットワークの整備が遅れていることを背景に物流機能の強化が求められている。

こうした状況を受け、同社はDPWHの技術者ら約

50人を対象にWSを開催。長大橋や特殊橋梁を計画・建設する上で必要となる設計手法や、基礎工事の関連技術をレクチャーした。初日、2日目の座学に続き、最終日は実際に橋を設計してもらい、プレゼンテーションする成果発表会を行った。

新井社長は、フィリピン

国内を一気通貫で結ぶ長大橋が経済成長に欠かせないとした上で「海外事業で自立できるようにしたい」と強調。強みとする橋梁技術を通じ、自社が展開する海外事業を一層強化する考えを示した。国際貢献の一環として、海外人材に対する保有技術の移転なども行う考えだ。